



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 大研医器株式会社
 コード番号 7775 URL <http://www.daiken-iki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 圭一
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 玉牧 健二 TEL 06-6231-9917
 四半期報告書提出予定日 2019年11月1日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第2四半期の業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,248	1.3	565	△19.9	579	△17.5	414	△14.7
2019年3月期第2四半期	4,195	△0.9	705	△15.3	703	△15.6	485	△5.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	14.42	—
2019年3月期第2四半期	16.26	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,972	5,894	53.7
2019年3月期	10,970	5,767	52.6

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 5,894百万円 2019年3月期 5,767百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	9.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	11.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	1.1	1,280	2.4	1,300	4.3	870	2.2	30.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	31,840,000株	2019年3月期	31,840,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,111,559株	2019年3月期	3,111,559株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	28,728,441株	2019年3月期2Q	29,862,672株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2019年11月21日(木)に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この決算説明会の資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
3. 補足情報	8
生産、受注及び販売の実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境については改善が継続しているものの、企業の設備投資や個人消費を含めた全体的な景況感は厳しさを増してきており、特に製造業の景況感は一段と低下しております。海外においては、通商問題の動向や中国経済の減速により先行き不透明な状況が続いております。

また、当社を取り巻く事業環境は、高齢化の進展による手術数の増加、院内感染や医療事故防止対策の推進により、医療用消耗品のニーズの拡大が続いております。

しかしながら、増加の一途をたどる医療費の抑制を目的とした医療制度改革は進められ、各医療機関の経営環境はより一層厳しさが増してきており、医療現場においてより効率的で効果的な医療サービスを提供できるような製品供給体制が望まれております。

このような状況のもと、当社は、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、医療現場と密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに独創的な製品の研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間の経営成績の分析は次のとおりであります。

① 売上高

売上高は、4,248百万円(前年同期比1.3%増)となりました。これは主として、主力製品の販売単価の下落圧力は強いものの、販売数量の伸びにより、売上に復調の兆しが見られたこと等によるものです。

② 営業利益

営業利益は、565百万円(前年同期比19.9%減)となりました。これは主として、主力製品の販売単価の下落と電動ポンプ事業における一過性の収益性悪化に伴う損失計上により、売上総利益が減少したこと等によるものです。

③ 経常利益

経常利益は、579百万円(前年同期比17.5%減)となりました。これは主として、助成金収入があったものの、営業利益が減少したこと等によるものです。

④ 四半期純利益

四半期純利益は、414百万円(前年同期比14.7%減)となりました。これは主として、経常利益が減少したこと等によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて82百万円増加し、6,428百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が427百万円、製品が95百万円それぞれ減少したものの、電子記録債権が619百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて81百万円減少し、4,543百万円となりました。これは主として、有形固定資産が77百万円、無形固定資産が3百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて300百万円減少し、3,404百万円となりました。これは主として、未払費用が55百万円、未払法人税等が41百万円それぞれ増加したものの、短期借入金が300百万円、未払金(流動負債「その他」)が101百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて174百万円増加し、1,672百万円となりました。これは主として、長期借入金が増加したこと等によるものです。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて126百万円増加し5,894百万円となりました。これは主として、利益剰余金が剰余金の配当により287百万円減少したものの、四半期純利益を414百万円計上したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べて36百万円減少し、2,181百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、517百万円(前年同期比228百万円増)となりました。これは主として、売上債権の増加が192百万円、法人税等を129百万円支出したものの、税引前四半期純利益を579百万円、減価償却費を130百万円それぞれ計上したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、148百万円(前年同期比57百万円増)となりました。これは主として、有形固定資産の取得により111百万円、資産除去債務の履行により35百万円それぞれ支出したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、405百万円(前年同期比228百万円減)となりました。これは主として、長期借入金を600百万円調達したものの、長期借入金の返済に415百万円、短期借入金の返済に300百万円、配当金の支払に287百万円をそれぞれ支出したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は概ね当初予想通りに推移していることから通期の業績につきましては、現時点では2019年3月期決算短信(2019年5月15日公表)に記載いたしました業績予想に変更はございません。

今後の業績動向により、変更が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,217,605	2,181,407
受取手形及び売掛金	2,594,139	2,167,116
電子記録債権	—	619,147
製品	992,486	897,167
仕掛品	101,724	98,625
原材料	405,653	386,598
その他	34,524	78,703
貸倒引当金	△86	△86
流動資産合計	6,346,047	6,428,679
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,168,485	2,131,733
土地	1,703,670	1,703,670
その他(純額)	403,477	362,552
有形固定資産合計	4,275,633	4,197,957
無形固定資産	32,205	28,703
投資その他の資産		
繰延税金資産	204,341	204,341
その他	141,793	141,560
貸倒引当金	△29,050	△29,050
投資その他の資産合計	317,083	316,851
固定資産合計	4,624,922	4,543,512
資産合計	10,970,969	10,972,191

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	895,902	897,171
短期借入金	1,100,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	803,998	818,008
未払法人税等	146,665	188,171
未払費用	446,381	501,388
その他	312,621	200,093
流動負債合計	3,705,570	3,404,834
固定負債		
長期借入金	1,459,924	1,630,790
その他	37,569	41,674
固定負債合計	1,497,493	1,672,464
負債合計	5,203,063	5,077,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,875	495,875
資本剰余金	400,875	400,875
利益剰余金	6,697,738	6,824,724
自己株式	△1,826,582	△1,826,582
株主資本合計	5,767,905	5,894,892
純資産合計	5,767,905	5,894,892
負債純資産合計	10,970,969	10,972,191

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	4,195,813	4,248,918
売上原価	2,172,066	2,388,028
売上総利益	2,023,746	1,860,889
販売費及び一般管理費	1,317,812	1,295,604
営業利益	705,934	565,285
営業外収益		
受取利息	24	0
未払配当金除斥益	277	435
受取補償金	1,090	609
助成金収入	200	15,781
為替差益	361	—
その他	347	524
営業外収益合計	2,300	17,350
営業外費用		
支払利息	2,296	2,425
支払手数料	2,084	—
その他	764	267
営業外費用合計	5,144	2,692
経常利益	703,090	579,942
特別損失		
固定資産除却損	37,777	0
特別損失合計	37,777	0
税引前四半期純利益	665,312	579,942
法人税等	179,674	165,672
四半期純利益	485,638	414,270

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	665,312	579,942
減価償却費	149,009	130,591
受取利息及び受取配当金	△24	△0
支払利息	2,296	2,425
売上債権の増減額(△は増加)	161,041	△192,125
たな卸資産の増減額(△は増加)	△301,443	117,474
仕入債務の増減額(△は減少)	24,047	47,563
賞与引当金の増減額(△は減少)	762	—
固定資産売却損益(△は益)	—	△60
固定資産除却損	37,777	0
助成金収入	△200	△15,781
未払金の増減額(△は減少)	△143,351	△80,166
未払費用の増減額(△は減少)	△59,776	55,009
未払又は未収消費税等の増減額	△44,489	38,650
その他	△40,559	△42,956
小計	450,403	640,567
利息及び配当金の受取額	24	0
利息の支払額	△2,380	△2,492
法人税等の支払額	△158,820	△129,880
助成金の受取額	200	9,715
営業活動によるキャッシュ・フロー	289,427	517,909
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△97,026	△111,196
有形固定資産の売却による収入	—	60
無形固定資産の取得による支出	△975	△2,048
資産除去債務の履行による支出	—	△35,800
その他	7,549	585
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,453	△148,399
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△286,376	△415,124
自己株式の取得による支出	△565,554	—
配当金の支払額	△480,315	△287,320
短期借入金の純増減額(△は減少)	400,000	△300,000
リース債務の返済による支出	△1,793	△3,263
財務活動によるキャッシュ・フロー	△634,038	△405,707
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△435,064	△36,198
現金及び現金同等物の期首残高	2,368,211	2,217,605
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,933,146	2,181,407

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

当社の事業は、医療機器等の製造販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の実績につきましては、当社の製品群別に記載しております。

① 生産実績

製品群	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
吸引器関連	1,263,867	△12.1
注入器関連	657,499	△3.2
電動ポンプ関連	130,635	+183.4
手洗い設備関連	140,092	+15.3
その他	124,560	△8.5
合計	2,316,655	△4.3

(注) 1 金額は製造原価によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当社は、見込生産を行っているため、該当事項はありません。

③ 販売実績

製品群	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
吸引器関連	2,722,763	△1.0
注入器関連	961,803	△2.6
電動ポンプ関連	83,859	+69.9
手洗い設備関連	319,254	+21.1
その他	161,238	+11.4
合計	4,248,918	+1.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。